



平成23年8月11日

各 位

会 社 名 日本産業ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 鮎川 純太
コード番号 4352 札幌証券取引所
問合せ先 経営管理本部長 松本 敬一
(TEL 03-5302-1901)

(訂正・数値データ訂正あり)「平成23年6月期 第2四半期決算短信」の一部訂正について

平成23年8月11日に「過年度有価証券報告書、四半期報告書及び決算短信等の修正に関するお知らせ」においてお知らせいたしましたとおり、第20期第2四半期（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）決算短信の記載事項の一部で、子会社の会計処理における取引未決算勘定に関して、売上計上が適切な会計処理と判断したことによる訂正事項があり、この方針に基づき、平成23年2月14日に発表いたしました「平成23年6月期 第2四半期決算短信」を下記のとおり訂正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、訂正箇所については、訂正前及び訂正後をそれぞれ記載の上、訂正箇所には を付して表示しております。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

【訂正前】サマリー

1. 平成23年6月期第2四半期の連結業績（平成22年7月1日～平成22年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第2四半期	422	23.8	△110	—	△142	—	△136	—
22年6月期第2四半期	341	656.5	△164	—	△162	—	△157	—
		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益						
		円 銭	1株当たり四半期純利益				円 銭	
23年6月期第2四半期		△528.66					—	
22年6月期第2四半期		△916.36					—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率 %	1株当たり純資産 円 銭	
	百万円		百万円				
23年6月期第2四半期	166		65		39.2	252.86	
22年6月期	441		207		45.7	782.64	

(参考) 自己資本

23年6月期第2四半期

65 百万円

22年6月期

201 百万円

【訂正後】サマリー

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第2四半期	451	30.7	△81	—	△113	—	△177	—
22年6月期第2四半期	345	665.8	△160	—	△157	—	△152	—
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
23年6月期第2四半期	△687.12		—					
22年6月期第2四半期	△891.85		—					

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第2四半期	166	65	39.2	252.86
22年6月期	441	248	55.0	941.10

(参考) 自己資本

23年6月期第2四半期

65 百万円

22年6月期

242 百万円

【訂正前】 P 2・3

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

〈省略〉

この結果、当第2四半期連結会計期間の業績は、売上高は 181,711 千円、営業損失は 44,486 千円、経常損失は 74,976 千円となり、四半期純損失は 67,195 千円（前年同四半期 四半期純損失 79,945 千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 財政状態の分析

当第2四半期末における資産、負債及び純資産の状態は以下のとおりです。

①資産

当第2四半期末の流動資産は 82,892 千円（前連結会計年度末比 177,839 千円減）となりました。これは主として、子会社の株式譲渡等で現金及び預金、受取手形及び売掛金などが減少したことによるものであります。

固定資産は 83,710 千円（前連結会計年度末比 97,464 千円減）となりました。これは主として、子会社の株式譲渡等で長期貸付金などが増加し、建物附属設備、ソフトウェア仮勘定、投資有価証券及び差入保証金並びに長期末収入金などが減少したことによるものです。

この結果、資産合計は 166,603 千円（前連結会計年度末比 275,303 千円減）となりました。

②負債

当第2四半期末の流動負債は 101,315 千円（前連結会計年度末比 129,499 千円減）となりました。これは主として、子会社の株式譲渡等で短期借入金などが増加し、支払手形及び買掛金、取引未決算勘定などが減少したことによるものであります。

固定負債は一千円（前連結会計年度末比 3,458 千円減）となりました。これは主として、子会社の株式譲渡等で預り保証金などが減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、101,315 千円（前連結会計年度末比 132,958 千円減）となりました。

③純資産

当第2四半期末の純資産合計は 65,287 千円（前連結会計年度末比 142,345 千円減）となりました。これは、子会社の株式譲渡等で別途積立金などが減少したことによるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

〈省略〉

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少額は、18,951 千円（前年同四半期は 76,346 千円減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失 66,356 千円、貸倒引当金の増加 34,896 千円、持分法による投資損失 32,204 千円、子会社株式売却益 147,855 千円、未払金の増加 10,684 千円、未払費用の増加 6,073 千円によるものです。

〈省略〉

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

〈省略〉

なお、平成 22 年 10 月 28 日付で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 995	百万円 △28	百万円 △29	百万円 △30	円 銭 △119 53
今回修正予想 (B)	673	△136	△166	△157	△608 74
増減額 (B-A)	△322	△108	△137	△127	—
増減率 (%)	△32.4	—	—	—	—
前期実績	839	△321	△333	△331	△1,544 37

【訂正後】 P 2・3

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

〈省略〉

この結果、当第 2 四半期連結会計期間の業績は、売上高は 181,711 千円、営業損失は 44,486 千円、経常損失は 74,976 千円となり、四半期純損失は 137,113 千円（前年同四半期 四半期純損失 75,745 千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 財政状態の分析

当第 2 四半期末における資産、負債及び純資産の状態は以下のとおりです。

①資産

当第 2 四半期末の流動資産は 82,892 千円（前連結会計年度末比 177,292 千円減）となりました。これは主として、子会社の株式譲渡等で現金及び預金、受取手形及び売掛金などが減少したことによるものであります。

固定資産は 83,710 千円（前連結会計年度末比 97,464 千円減）となりました。これは主として、子会社の株式譲渡等で長期貸付金などが増加し、建物附属設備、ソフトウェア仮勘定、投資有価証券及び差入保証金並びに長期間収入金などが減少したことによるものです。

この結果、資産合計は 166,603 千円（前連結会計年度末比 274,756 千円減）となりました。

②負債

当第 2 四半期末の流動負債は 101,315 千円（前連結会計年度末比 88,052 千円減）となりました。これは主として、子会社の株式譲渡等で短期借入金などが増加し、支払手形及び買掛金などが減少したことによるものです。

固定負債は一千円（前連結会計年度末比 3,458 千円減）となりました。これは主として、子会社の株式譲渡等で預り保証金などが減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、101,315 千円（前連結会計年度末比 91,511 千円減）となりました。

③純資産

当第 2 四半期末の純資産合計は 65,287 千円（前連結会計年度末比 183,245 千円減）となりました。これは、子会社の株式譲渡等で別途積立金などが減少したことによるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

〈省略〉

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少額は、18,951 千円（前年同四半期は 76,346 千円減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失 136,294 千円、貸倒引当金の増加 34,896 千円、持分法による投資損失 32,204 千円、子会社株式売却損益 77,917 千円、未払金の増加 10,684 千円、未払費用の増加 6,073 千円によるものです。

〈省略〉

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

〈省略〉

なお、平成 22 年 10 月 28 日付で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 995	百万円 △28	百万円 △29	百万円 △30	円 銭 △119 53
今回修正予想 (B)	673	△136	△166	△157	△608 74
増減額 (B-A)	△322	△108	△137	△127	—
増減率 (%)	△32.4	—	—	—	—
前期実績	880	△280	△292	△290	△1,353 57

【訂正前】 P 3・4

2. その他の情報

〈省略〉

(4) 繼続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度まで 4 期連続して営業損失、経常損失及び当期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローも 4 期連続してマイナスになっております。また、当第 2 四半期連結累計期間においても 110,299 千円の営業損失、142,150 千円の経常損失、136,446 千円の四半期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローのマイナスを 67,577 千円計上しております。また、資金面においては、親会社等に対して当社グループの事業展開に応じて発生する資金調達需要や運転資金の調達について資金支援を要請し、実施に至っております。

〈省略〉

「事業運営の改善」

① グループの再編

当四半期連結会計期間において、まず、債務超過の状態であった株式会社アルファ・テクノロジーについて、その収支改善が困難であると判断し、平成 22 年 10 月に所有株式全てを譲渡し、連結グループから除外致しました。

さらに、平成 22 年 11 月には、同じく債務超過の状態であった株式会社プライムファームについて、黒字収支が見込まれるベーカリー部門を日本産業総研株式会社へ事業移管した上で、同月に株式譲渡を行い連結グループから除外致しております。

今後は、飲食事業およびコスメ事業を当社グループの中核事業とし、経営資源を集中していくとともに下記の施策を実施し、収益力の強化を図ってまいります。

〈省略〉

【訂正後】 P 3・4

2. その他の情報

〈省略〉

(4) 繼続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度まで 4 期連続して営業損失、経常損失及び当期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローも 4 期連続してマイナスになっております。また、当第 2 四半期連結累計期間においても 81,261 千円の営業損失、113,112 千円の経常損失、177,346 千円の四半期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローのマイナスを 67,577 千円計上しております。また、資金面においては、親会社等に対して当社グループの事業展開に応じて発生する資金調達需要や運転資金の調達について資金支援を要請し、実施に至っております。

〈省略〉

「事業運営の改善」

① グループの再編

当四半期連結会計期間において、まず、株式会社アルファ・テクノロジーについて、その収支改善が困難であると判断し、平成 22 年 10 月に所有株式全てを譲渡し、連結グループから除外致しました。

さらに、平成 22 年 11 月には、債務超過の状態であった株式会社プライムファームについて、黒字収支が見込まれるベーカリー部門を日本産業総研株式会社へ事業移管した上で、同月に株式譲渡を行い連結グループから除外致しております。

今後は、飲食事業およびコスメ事業を当社グループの中核事業とし、経営資源を集中していくとともに下記の施策を実施し、収益力の強化を図ってまいります。

〈省略〉

【訂正前】 P 6・7

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,039	86,795
受取手形及び売掛金	39,630	169,528
商品及び製品	6,783	2,725
仕掛品	—	8,165
原材料及び貯蔵品	4,656	2,855
未収入金	5,097	5,075
その他	7,958	<u>13,790</u>
貸倒引当金	△273	△28,204
流動資産合計	82,892	260,732
固定資産		
有形固定資産	8,291	22,672
無形固定資産		
ソフトウェア	746	845
ソフトウェア仮勘定	—	20,000
その他	—	84
無形固定資産合計	746	20,929
投資その他の資産		
投資有価証券	58,701	95,158
長期貸付金	139,261	—
差入保証金	15,970	25,209
長期未収入金	5,309	42,134
その他	—	16,207
貸倒引当金	△144,571	△41,137
投資その他の資産合計	74,672	137,572
固定資産合計	83,710	181,174
資産合計	166,603	441,907
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,414	140,654
短期借入金	16,000	—
未払金	20,534	10,791
未払費用	21,098	23,981
未払法人税等	1,710	4,560
取引未決算勘定	—	42,945
その他	2,557	<u>7,881</u>
流動負債合計	101,315	230,815
固定負債		
長期預り保証金	—	3,082
繰延税金負債	—	207
その他	—	168
固定負債合計	—	3,458
負債合計	101,315	234,274

(単位：千円)

前連結会計年度末に係る

当第2四半期連結会計期間末

(平成22年12月31日)

要約連結貸借対照表

(平成22年6月30日)

純資産の部		
株主資本		
資本金	832, 668	832, 668
資本剰余金	738, 123	738, 123
利益剰余金	<u>△1, 505, 528</u>	<u>△1, 369, 093</u>
株主資本合計	65, 263	<u>201, 698</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	300
評価・換算差額等合計	—	300
新株予約権	24	5, 634
純資産合計	65, 287	<u>207, 632</u>
負債純資産合計	166, 603	<u>441, 907</u>

【訂正後】P 6・7

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,039	86,795
受取手形及び売掛金	39,630	169,528
商品及び製品	6,783	2,725
仕掛品	—	8,165
原材料及び貯蔵品	4,656	2,855
未収入金	5,097	5,075
その他	7,958	<u>13,243</u>
貸倒引当金	△273	△28,204
流動資産合計	82,892	260,185
固定資産		
有形固定資産	8,291	22,672
無形固定資産		
ソフトウェア	746	845
ソフトウェア仮勘定	—	20,000
その他	—	84
無形固定資産合計	746	20,929
投資その他の資産		
投資有価証券	58,701	95,158
長期貸付金	139,261	—
差入保証金	15,970	25,209
長期未収入金	5,309	42,134
その他	—	16,207
貸倒引当金	△144,571	△41,137
投資その他の資産合計	74,672	137,572
固定資産合計	83,710	181,174
資産合計	166,603	441,359
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,414	140,654
短期借入金	16,000	—
未払金	20,534	10,791
未払費用	21,098	23,981
未払法人税等	1,710	4,560
その他	2,557	<u>9,379</u>
流動負債合計	101,315	189,368
固定負債		
长期預り保証金	—	3,082
繰延税金負債	—	207
その他	—	168
固定負債合計	—	3,458
負債合計	101,315	192,827

(単位：千円)

前連結会計年度末に係る

当第2四半期連結会計期間末

(平成22年12月31日)

要約連結貸借対照表

(平成22年6月30日)

純資産の部		
株主資本		
資本金	832,668	832,668
資本剰余金	738,123	738,123
利益剰余金	△1,505,528	△1,328,193
株主資本合計	65,263	242,598
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	300
評価・換算差額等合計	—	300
新株予約権	24	5,634
純資産合計	65,287	248,532
負債純資産合計	166,603	441,359

【訂正前】 P 8

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	341,348	422,456
売上原価	303,008	365,879
売上総利益	38,340	56,576
販売費及び一般管理費	202,972	166,876
営業損失(△)	△164,632	△110,299
営業外収益		
受取利息	501	577
持分法による投資利益	1,247	—
役員報酬返上益	1,374	—
税金等還付金	15	1,118
預り保証金償却	—	281
その他	1,136	87
営業外収益合計	4,275	2,064
営業外費用		
支払利息	763	187
売上債権売却損	977	—
持分法による投資損失	—	33,728
営業外費用合計	1,741	33,915
経常損失(△)	△162,097	△142,150
特別利益		
固定資産売却益	—	138
新株予約権戻入益	—	5,610
投資有価証券売却益	7,024	—
子会社株式売却益	—	147,855
貸倒引当金戻入額	286	6
特別利益合計	7,310	153,610
特別損失		
貸倒引当金繰入額	250	144,844
前期損益修正損	—	16
固定資産除却損	365	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,170
特別損失合計	616	146,031
税金等調整前四半期純損失(△)	△155,402	△134,571
法人税、住民税及び事業税	1,601	1,874
法人税等合計	1,601	1,874
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△136,446
四半期純損失(△)	△157,004	△136,446

【訂正後】 P 8

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	345,548	451,494
売上原価	303,008	365,879
売上総利益	42,540	85,614
販売費及び一般管理費	202,972	166,876
営業損失(△)	△160,432	△81,261
営業外収益		
受取利息	501	577
持分法による投資利益	1,247	—
役員報酬返上益	1,374	—
税金等還付金	15	1,118
預り保証金償却	—	281
その他	1,136	87
営業外収益合計	4,275	2,064
営業外費用		
支払利息	763	187
売上債権売却損	977	—
持分法による投資損失	—	33,728
営業外費用合計	1,741	33,915
経常損失(△)	△157,897	△113,112
特別利益		
固定資産売却益	—	138
新株予約権戻入益	—	5,610
投資有価証券売却益	7,024	—
子会社株式売却益	—	89,504
貸倒引当金戻入額	286	6
特別利益合計	7,310	95,258
特別損失		
貸倒引当金繰入額	250	144,844
前期損益修正損	—	16
固定資産除却損	365	—
子会社株式売却損	—	11,586
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,170
特別損失合計	616	157,618
税金等調整前四半期純損失(△)	△151,202	△175,471
法人税、住民税及び事業税	1,601	1,874
法人税等合計	1,601	1,874
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△177,346
四半期純損失(△)	△152,804	△177,346

【訂正前】 P 9

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	209,595	181,711
売上原価	191,262	157,069
売上総利益	18,332	24,261
販売費及び一般管理費	93,867	69,127
営業損失(△)	△75,535	△44,486
営業外収益		
受取利息	90	548
役員報酬返上益	1,374	—
税金等還付金	15	1,118
預り保証金償却	—	112
その他	422	62
営業外収益合計	1,902	1,842
営業外費用		
支払利息	389	128
売上債権売却損	977	—
持分法による投資損失	3,926	32,204
営業外費用合計	5,294	32,332
経常損失(△)	△78,926	△74,976
特別利益		
新株予約権戻入益	—	5,610
子会社株式売却益	—	147,855
貸倒引当金戻入額	30	—
特別利益合計	30	153,465
特別損失		
貸倒引当金繰入額	250	144,844
特別損失合計	250	144,844
税金等調整前四半期純損失(△)	△79,146	△66,356
法人税、住民税及び事業税	799	839
法人税等合計	799	839
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△67,195
四半期純損失(△)	△79,945	△67,195

【訂正後】 P 9

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	213,795	181,711
売上原価	191,262	157,069
売上総利益	22,532	24,261
販売費及び一般管理費	93,867	69,127
営業損失(△)	△71,335	△44,486
営業外収益		
受取利息	90	548
役員報酬返上益	1,374	—
税金等還付金	15	1,118
預り保証金償却	—	112
その他	422	62
営業外収益合計	1,902	1,842
営業外費用		
支払利息	389	128
売上債権売却損	977	—
持分法による投資損失	3,926	32,204
営業外費用合計	5,294	32,332
経常損失(△)	△74,726	△74,976
特別利益		
新株予約権戻入益	—	5,610
子会社株式売却益	—	89,504
貸倒引当金戻入額	30	—
特別利益合計	30	95,114
特別損失		
貸倒引当金繰入額	250	144,844
子会社株式売却損	—	11,586
特別損失合計	250	156,431
税金等調整前四半期純損失(△)	△74,946	△136,294
法人税、住民税及び事業税	799	839
法人税等合計	799	839
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△137,133
四半期純損失(△)	△75,745	△137,133

【訂正前】 P 10・11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	<u>△155,402</u>	<u>△134,571</u>
減価償却費	2,973	1,321
のれん償却額	860	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	163	35,138
受取利息及び受取配当金	△501	△577
支払利息	763	187
持分法による投資損益（△は益）	△1,247	33,728
有形固定資産売却損益（△は益）	—	△138
有形固定資産除却損	65	—
無形固定資産除却損	300	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,170
投資有価証券売却損益（△は益）	△7,024	—
子会社株式売却損益（△は益）	—	△147,855
新株予約権戻入益	—	△5,610
売上債権の増減額（△は増加）	△51,392	25,844
たな卸資産の増減額（△は増加）	△18,984	△10,664
長期前払費用の増減額（△は増加）	△550	112
破産更生債権等の増減額（△は増加）	△2,532	—
その他の資産の増減額（△は増加）	△15,732	△6,479
未払金の増減額（△は減少）	3,260	12,383
未払費用の増減額（△は減少）	13,019	8,798
未払消費税等の増減額（△は減少）	214	△795
前受金の増減額（△は減少）	1,791	—
仕入債務の増減額（△は減少）	42,446	△17,696
預り保証金の増減額（△は減少）	4,500	—
その他の負債の増減額（△は減少）	2,346	109,683
小計	<u>△180,663</u>	<u>△96,020</u>
利息及び配当金の受取額	496	577
利息の支払額	△3,524	△0
<u>取引未決算勘定の増減額（△は減少）</u>	<u>4,410</u>	<u>30,490</u>
法人税等の支払額	△3,591	△3,742
法人税等の還付額	—	1,118
営業活動によるキャッシュ・フロー	△182,872	△67,577

(単位：千円)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△24,276
有形固定資産の売却による収入	—
無形固定資産の取得による支出	△995
投資有価証券の取得による支出	△1,010,310
投資有価証券の売却による収入	18,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 支出	—
貸付による支出	△64,000
貸付金の回収による収入	61,468
事業譲受による支出	△10,300
差入保証金の差入による支出	△5,130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,035,543
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	68,500
短期借入金の返済による支出	△115,300
長期借入れによる収入	800,000
株式の発行による収入	430,920
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,184,120
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△34,295
現金及び現金同等物の期首残高	98,981
現金及び現金同等物の四期末残高	64,685
	17,800
	△1,600
	—
	—
	△16,378
	△67,756
	86,795
	19,039

【訂正後】 P 10・11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	<u>△151,202</u>	<u>△175,471</u>
減価償却費	2,973	1,321
のれん償却額	860	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	163	35,138
受取利息及び受取配当金	△501	△577
支払利息	763	187
持分法による投資損益（△は益）	△1,247	33,728
有形固定資産売却損益（△は益）	—	△138
有形固定資産除却損	65	—
無形固定資産除却損	300	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,170
投資有価証券売却損益（△は益）	△7,024	—
子会社株式売却損益（△は益）	—	△77,917
新株予約権戻入益	—	△5,610
売上債権の増減額（△は増加）	△51,392	25,844
たな卸資産の増減額（△は増加）	△18,984	△10,664
長期前払費用の増減額（△は増加）	△550	112
破産更生債権等の増減額（△は増加）	△2,532	—
その他の資産の増減額（△は増加）	△15,522	△5,027
未払金の増減額（△は減少）	3,260	12,383
未払費用の増減額（△は減少）	13,019	8,798
未払消費税等の増減額（△は減少）	214	△795
前受金の増減額（△は減少）	1,791	—
仕入債務の増減額（△は減少）	42,446	△17,696
預り保証金の増減額（△は減少）	4,500	—
その他の負債の増減額（△は減少）	2,346	109,683
小計	<u>△176,253</u>	<u>△65,530</u>
利息及び配当金の受取額	496	577
利息の支払額	△3,524	△0
法人税等の支払額	△3,591	△3,742
法人税等の還付額	—	1,118
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△182,872</u>	<u>△67,577</u>

(単位：千円)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△24,276
有形固定資産の売却による収入	—
無形固定資産の取得による支出	△995
投資有価証券の取得による支出	△1,010,310
投資有価証券の売却による収入	18,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 支出	—
貸付による支出	△64,000
貸付金の回収による収入	61,468
事業譲受による支出	△10,300
差入保証金の差入による支出	△5,130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,035,543
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	68,500
短期借入金の返済による支出	△115,300
長期借入れによる収入	800,000
株式の発行による収入	430,920
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,184,120
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△34,295
現金及び現金同等物の期首残高	98,981
現金及び現金同等物の四期末残高	64,685
	17,800
	△1,600
	—
	—
	△16,378
	△67,756
	86,795
	19,039

【訂正前】 P 1 2

(4) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、前連結会計年度まで4期連続して営業損失、経常損失及び当期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローも4期連続してマイナスになっております。また、当第2四半期連結累計期間においても 110,299 千円の営業損失、142,150 千円の経常損失、136,446 千円の四半期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローのマイナスを 67,577 千円計上しております。また、資金面においては、親会社等に対して当社グループの事業展開に応じて発生する資金調達需要や運転資金の調達について資金支援を要請し、実施に至っております。

〈省略〉

「事業運営の改善」

① グループの再編

当四半期連結会計期間において、まず、債務超過の状態であった株式会社アルファ・テクノロジーについて、その収支改善が困難であると判断し、平成22年10月に所有株式全てを譲渡し、連結グループから除外致しました。

さらに、平成22年11月には、同じく債務超過の状態であった株式会社プライムファームについて、黒字収支が見込まれるベーカリー部門を日本産業総研株式会社へ事業移管した上で、同月に株式譲渡を行い連結グループから除外致しております。

今後は、飲食事業およびコスメ事業を当社グループの中核事業とし、経営資源を集中していくとともに下記の施策を実施し、収益力の強化を図ってまいります。

〈省略〉

【訂正後】 P 1 2

(4) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、前連結会計年度まで4期連続して営業損失、経常損失及び当期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローも4期連続してマイナスになっております。また、当第2四半期連結累計期間においても 81,261 千円の営業損失、113,112 千円の経常損失、177,346 千円の四半期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローのマイナスを 67,577 千円計上しております。また、資金面においては、親会社等に対して当社グループの事業展開に応じて発生する資金調達需要や運転資金の調達について資金支援を要請し、実施に至っております。

〈省略〉

「事業運営の改善」

① グループの再編

当四半期連結会計期間において、まず、株式会社アルファ・テクノロジーについて、その収支改善が困難であると判断し、平成22年10月に所有株式全てを譲渡し、連結グループから除外致しました。

さらに、平成22年11月には、債務超過の状態であった株式会社プライムファームについて、黒字収支が見込まれるベーカリー部門を日本産業総研株式会社へ事業移管した上で、同月に株式譲渡を行い連結グループから除外致しております。

今後は、飲食事業およびコスメ事業を当社グループの中核事業とし、経営資源を集中していくとともに下記の施策を実施し、収益力の強化を図ってまいります。

〈省略〉

【訂正前】 P 1 3・1 4・1 5

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	情報技術事業 (千円)	コンサルティング事業 (千円)	投資事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	<u>22,516</u>	181,823	5,255	—	<u>209,595</u>	—	<u>209,595</u>
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	<u>22,516</u>	181,823	5,255	—	<u>209,595</u>	—	<u>209,595</u>
営業損失	<u>17,413</u>	8,745	9,676	1,722	<u>37,557</u>	37,977	<u>75,535</u>

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日）

	情報技術事業 (千円)	コンサルティング事業 (千円)	投資事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(3) 外部顧客に対する売上高	<u>33,434</u>	301,502	6,412	—	<u>341,348</u>	—	<u>341,348</u>
(4) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	<u>33,434</u>	301,502	6,412	—	<u>341,348</u>	—	<u>341,348</u>
営業損失	<u>35,608</u>	22,678	17,922	1,722	<u>77,932</u>	86,699	<u>164,632</u>

＜省略＞

【セグメント情報】

＜省略＞

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年7月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

	情報技術事業	コンサルティング事業	飲食事業	コスメ事業	計	調整額 (注)	連結
売上高							
外部顧客への売上高	<u>28,892</u>	213,241	173,005	7,316	<u>422,456</u>	—	<u>422,456</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	638	150	—	—	788	△788	—
計	<u>29,531</u>	213,391	173,005	7,316	<u>423,245</u>	△788	<u>422,456</u>
セグメント利益又は損失 (△)	<u>△9,770</u>	△21,268	1,137	△9,614	<u>△39,516</u>	△70,782	<u>△110,299</u>

＜省略＞

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

当第2四半期連結累計期間（自平成22年7月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△39,516
セグメント間取引消去	10,490
全社費用（注）	△81,273
四半期連結損益計算書の営業利益	△110,299

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります

〈省略〉

【訂正後】 P 1 3 ・ 1 4 ・ 1 5

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	情報技術事業 (千円)	コンサルティング事業 (千円)	投資事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(5) 外部顧客に対する売上高	26,716	181,823	5,255	—	213,795	—	213,795
(6) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	26,716	181,823	5,255	—	213,795	—	213,795
営業損失	13,213	8,745	9,676	1,722	33,357	37,977	71,335

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日）

	情報技術事業 (千円)	コンサルティング事業 (千円)	投資事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(7) 外部顧客に対する売上高	37,634	301,502	6,412	—	345,548	—	345,548
(8) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	37,634	301,502	6,412	—	345,548	—	345,548
営業損失	31,408	22,678	17,922	1,722	73,732	86,699	160,432

〈省略〉

【セグメント情報】

〈省略〉

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年7月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

	情報技術 事業	コンサルテ ィング事業	飲食事業	コスメ事業	計	調整額 (注)	連結
売上高							
外部顧客への売上高	<u>57,930</u>	213,241	173,005	7,316	<u>451,494</u>	—	<u>451,494</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	638	150	—	—	788	△788	—
計	<u>58,569</u>	213,391	173,005	7,316	<u>452,283</u>	△788	<u>451,494</u>
セグメント利益又は損失 (△)	<u>19,267</u>	△21,268	1,137	△9,614	<u>△10,478</u>	△70,782	<u>△81,261</u>

〈省略〉

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

当第2四半期連結累計期間（自平成22年7月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>△10,478</u>
セグメント間取引消去	10,490
全社費用（注）	△81,273
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	<u>△81,261</u>

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります

〈省略〉

以 上